

# 愛隣館研修センターニュース

〒612-8141 京都市伏見区向島二ノ丸町 151 Tel:075-621-3849 Fax:075-621-1579  
E-mail:airinday@sunny.ocn.ne.jp http://www.airinkan.net 振替:01020-5-39321  
編集発行所:社会福祉法人イエス団 愛隣館研修センター 発行責任者:平田 義

88号

## この国は一体どこに向かっていくのか? ～憲法改悪を許さない!～

平田 義

### 憲法があぶない!

参議院選挙が公示され、各新聞社の世論調査によれば、自民党が単独過半数を獲得する勢いだそうだ。多くの有権者の関心は「景気対策」にあり、「アベノミクス」とやらで景気が回復傾向にあることが評価されているのだろう。自民党は「日本を取り戻す」と宣言し、「経済再生」を前面に掲げて選挙に臨んでいるが、選挙の結果次第で「憲法改悪」を目論んでいることは周知の事実だ。が、しかし、その危険性が大きく取り上げられることは少ない。自民党は憲法をどのように変えようとしているのか。彼らの狙いはどこにあるのかを「自民党憲法改正草案」から読み解いてみたい。

### 問題点その1～立憲主義が放棄される!?!～

#### 現行憲法 99条

「天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ。」

立憲主義とは国家権力が暴走しないように憲法において歯止めをかける仕組みのことである。権力を行使する側が国民の人権を侵害することがないように、憲法尊重擁護義務が課せられているのである。

しかし、自民党草案ではこの立憲主義が放棄されているのである。つまり、国民に憲法尊重擁護義務が課せられ、天皇や摂政に対する義務は免除されている。これは、国民の権利を後退させ、国民に様々な義務を課せるようにし、人権よりも国策が重んじられている。

例えば、自民党草案の前文に「日本国民は、国と郷土を誇りと気概を持って守り」と国民

に「国防義務」を課している。また、自民党草案第3条には「国旗は日章旗とし、国歌は君が代とする。国民は国旗及び国歌を尊重しなければならない」とある。日の丸、君が代については天皇制とのからみで、様々な考え方があろう。そこに尊重義務が課せられることは、思想、信条の自由を奪うことに他ならない。この義務が拡大解釈されて不敬罪が復活するかもわからない。

### 問題点その2～平和主義も放棄される!?!～

#### 現行憲法前文

「われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。」

現行憲法前文では、平和的生存権を定めている。これは、「平和」の意味を、単に戦争のない状況を指すのではなく、差別や抑圧による人権侵害や、飢餓や貧困など、人間の尊厳を脅かすあらゆる「恐怖」や「欠乏」に苦しむことなく生活できることと規定している。

しかし、自民党草案の前文では、この素晴らしい平和的生存権の部分は全文削除されているばかりか、「戦争責任」を放棄し、「戦争できる国づくり」のための文言となっていると言っても過言ではない。

### 問題点その3～戦争できる国へ向かうのか!?!～

#### 現行憲法「戦争の放棄」第2章9条

「日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。2 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。」

現行憲法では、戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権の否認という平和主義の三原則を明示している。

ところが、自民党草案においては、表題の「戦争の放棄」を「安全保障」に変え、9条の2において「国防軍」という軍隊を創設し、交戦権否認条項を削除した。つまり、平和主義三原則のうち、戦力の不保持と交戦権の否認を完全に放棄しているのである。また、「戦争の放棄」についての文言は残してはいるが、「自衛権の発動を妨げるものではない」を加え、国防軍が「国際的に強調して行われる活動及び公の秩序」維持のために出動できるとしている。これにより、完全に「戦争できる国」になる。今後、アメリカが仕掛ける他国での戦争に、国際協力を名目に、日本の国防軍がが出動していくのだ。戦争に行き、殺し合いを余儀なくさせられるのは若者たちであり、憲法改悪を目論んでいる政治家ではないのだ。

問題点その4 ～人よりも国が大事!???～

現行憲法第13条  
 「個人の尊重・幸福追求権・公共の福祉」  
 「すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。」

自民党草案では「公益及び公の秩序」に置き換えられている。人が人として幸せに生きることよりも「公益＝国益」が優先されていくのである。また、「公益及び公の秩序に反してはならない」ということは、「お上の決めたことに対しては文句を言ってはアカンよ」ということで、原発反対のデモやオスプレイ阻止のデモも規制されかねないのだ。

終わりに

自民党草案の問題点はこれまで挙げてきたポイント以外にも「天皇を元首とする」など、そら恐ろしい内容となっている。これをそのまま出せば、「憲法改悪」のハードルが高くなり過ぎるために、まずは現行憲法96条の「改正の手続き」を議員の三分の二の賛成から過半数に変えていこうとしている。姑息なやり方である。

参議院議員で元読谷村村長の山内徳信さんは参議院予算委員会において安倍首相に次のような発言をされた。

「私は少なくとも、戦後の日本のこの六十年余りの戦後体制は平和憲法体制であったと思っています。この平和憲法を今の政権与党が思う方向に、天皇を元首化にして、自衛隊を国防軍にして戦争のできる方向に、いわゆる武には武、目には目という形でどうも動きつつあるなど。その時に、安倍総理は日本のヒトラーと言われかねない。そういうことが言われたらいかぬと思うのです。日本にはああいうヒトラーが生まれてはいかぬのです」(「民衆の闘い『巨象』を倒す」山内徳信著 創史社)

ヒトラーがドイツの国民から熱狂的な支持を受けたのも、手厚い経済政策を施したからであった。その結果、ユダヤ人をはじめ障がいのある方々を収容所へ送り、虐殺を行うという悲惨な状況に陥ったのである。「アベノミクス」がもてはやされている今の日本の状況と似てはいないか。日本にヒトラーを誕生させないためにも、来たる参議院選挙での私たちの選択が問われている。

詩人 柏木正行さん (1945-2006) の  
魂に触れる

命の証

わたしは何も出来ない  
 自分で起きることも  
 顔を洗うことも  
 食べることも  
 洗濯することも  
 衣服を着ることも  
 掃除することも  
 トイレの始末も  
 自分では出来ない  
 しかし  
 わたしは詩を書くことはできる  
 楽しいと書けば  
 楽しいと書き  
 苦しければ  
 苦しいと書くこともできる  
 だから  
 わたしは詩を書こう  
 わたしだけの言葉を創ろう  
 何故なら  
 それがわたしの命の証だから



■□■あいらんコラム

「今はこれ以上の積極的な治療はおこなわない方が本人も苦しくないと思う。もう看取りの状態だと考えている。それに対してどのような意見か？」

「こちらに意見を求めるという場は設けてはいるが、方針は既に決まっております、いかにそれに対して納得させるか？そんな医療側の思惑を疑ってしまう。それを受け止める側とのベクトル方向が全然違うと感じてしまう。」

「はつきり言おう。どんなにきれいに説明されても、身寄りが誰もなくて生活保護であるAさんへの医療の切り捨て感を拭いきれない。」

「婦長の「納得されましたか？」という言葉がとても冷たく機械的に感じられる。「納得なんてできません。今の状況を受け止めることしかできません」それが精一杯だった。」

「次の日の朝、病院から連絡があり太田が駆け付けたときには、既にモニターではSPO2値は0になって、「ピー」という電子音がずっと鳴りつづけている。太田が手を強く握ると時々数字が現れる。その間隔が段々と長くなってきて、その後もう戻らなくなる。」

「施設入所されている重度の知的障がいの子が到着する。すると、ゾロゾロと参拝者のごとく看護師や医者達がAさんの周りを取り囲む。そしてドラマを見ているかのようにシナリオ通りに死亡が告げられる。医者が宣言して初めてその時間が死亡時間になる。「(さっきまでほったらかしやったのに・・・)」

「お別れ言えて良かったね」という看護師達の決まり文句が虚しい。

「病院という命を救う現場で、「本人主体、命を大切にすること、寄り添うこと」とは一体何？同じく現場を持つ身として改めて大切にすべきことは何なのかを考えさせられた。」

2013年 夏期献金のお願い  
—これからの“地域”を見据えて—

この向島の地に誕生してから、34年。皆様方のご理解とご支援によって支えられ、活動を続けることが出来ましたこと、心より感謝します。今年度も夏期献金にご協力頂きますよう、改めてお願いを申し上げます。

目的：障がい児・者とその家族とが地域で安心して暮らしていくことができる為に、愛隣館研修センターの今後の活動を支援する

目標金額：3,000,000円

送金方法：郵便振替 01020-5-39321

口座名：社会福祉法人イエス団 愛隣館研修センター

▼▼▼マイタウンMJだより

向島ニュータウンセンター商店会内に、京都文教マイタウン（以後、マイタウン MJ）というコミニティスペースがオープンしてから半年が経った。オープン当時は、地域住民から「この店は何を売っているのか？」「何をやる場所なのか」といった疑問が多数寄せられた。しかし、京都文教大の小林大佑先生による『ひな人形展』や福島県から自主避難してきた避難者の方の呼びかけによる有志で開催した東日本大震災の犠牲者を追悼する『3.11 メモリアルキャンドル』を皮切りマイタウン MJ は地域住民に広く周知されるようになる。

周知されるに伴い地域住民から「マイタウン MJ を使ってイベントをしてみたい」という声も上がり、中国帰国者の会による「国文化の披露や、地域に住む子ども達の学習会、ゴールドウィークに子ども達がプラレールを遊ぶことのできる『プラレールであそぼう！ in 向島』という企画が行われてきた。

7月には浴衣の着付け教室や、福島県から自主避難してきた方の呼びかけで戦争・原爆・震災の取り組み写真展『母と子 あの日、この夏に考える』というイベントが行われる。

終了したイベントを再び開催してほしいと望む声も多数上がっている。地域に住む子ども達から「プラレールはいつまたやるの？」という声も上がり、プラレールイベントの企画者は次年度の開催を計画している。また、震災の記憶を風化させないため、『第2回 3.11 メモリアルキャンドル』の開催も企画されている。

まだオープンして半年しか経っていないマイタウン MJ であるが、地域住民の関心の対象となっていることは間違いなさだろう。オープン当時では考えられなかった人数がマイタウン MJ に関わりを持つようになった今現在、マイタウン MJ の動向に目が離せない。

(記：内山慎吾)

治と書こう(ひ)

▼8月号完成▽ご意見・感想お待ちしております(ま) 近づくに引退され さんそうだ▼その 後釜に平和運動 センター事務局 長の山城博治 (やましろ)ひろ 補さん立候 (じ)さん先 補さん立候 普天間のゲト 封鎖や高江の 基地建設阻止の 闘いの法改正阻 だ、憲法改悪阻 止、基地撤去など 軍基地撤去など を訴える▼是非 山城博治さんを 国へ送りたい お願いいたします

★お知らせ★  
▽愛隣館研修センターは、8月7日(土)に夏期休業いたします。8月10日(月)から通常営業いたします。

★編集後記★